

令和3年10月13日
記者発表資料

エネルギーの地産地消を推進する「地域電力供給システム整備事業」の採択事業が決定！

県では、「かながわスマートエネルギー計画」を策定し、火力発電等の「集中型電源」から、太陽光発電設備等の「分散型電源」への転換を図り、エネルギーの地産地消を目指して取り組んでいます。その取組の一環として、「エネルギーを地産地消するスマートコミュニティの形成」に向け、小売電気事業者が県内の太陽光発電設備等の分散型電源から電力を調達し、地域に供給する事業を支援する地域電力供給システム整備事業の公募を行い、採択事業を決定しましたので、お知らせします。

1 採択事業者

令和3年4月23日(金曜日)から同年7月23日(金曜日)17時まで公募を行ったところ、1件の応募があり、次のとおり採択事業者を決定しました。

代表事業者:グリーンピープルズパワー株式会社(東京都)

共同実施事業者:社会福祉法人愛成会(横浜市)

協力事業者:株式会社太陽住建(横浜市)

イージーパワー株式会社(東京都)

2 採択事業の概要

(1) 電力の調達(地産)について

- 代表事業者のグリーンピープルズパワー株式会社が、市民出資の手法で調達した資金を用いて、共同実施事業者の社会福祉法人愛成会が運営する特別養護老人ホーム愛成苑(横浜市)に、太陽光発電設備及び蓄電池を設置します。
- 協力事業者の株式会社太陽住建が、太陽光発電設備等の設置工事を行います。
- 協力事業者のイージーパワー株式会社が、太陽光発電設備等の設置後の維持管理を行います。

(2) 電力の供給(地消)について

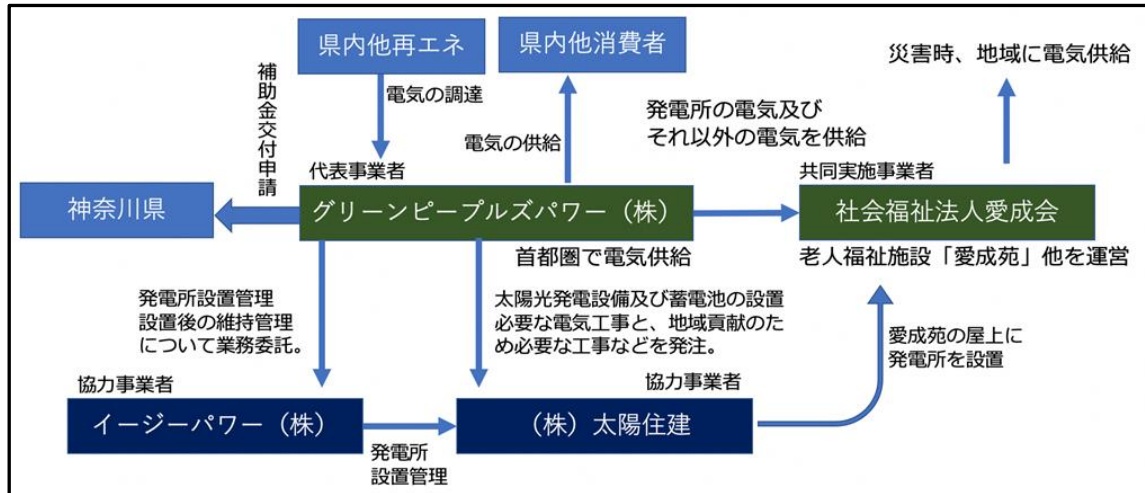
- 太陽光発電設備等を設置した特別養護老人ホーム愛成苑では、発電した電力を自家消費します。

- ・ グリーンピープルズパワー株式会社は、小売電気事業者として、特別養護老人ホーム愛成苑における余剰電力を県内の需要家へ供給します。

(3) 地域貢献の取組等について

- ・ 特別養護老人ホーム愛成苑に設置した蓄電池は、福祉避難所としての機能維持や、地域の方々への非常用コンセントの開放にも活用されます。

【概要図】



問合せ先

神奈川県産業労働局産業部エネルギー課
 課長 郷家 電話 045-210-4101
 課長代理 加藤 電話 045-210-4090